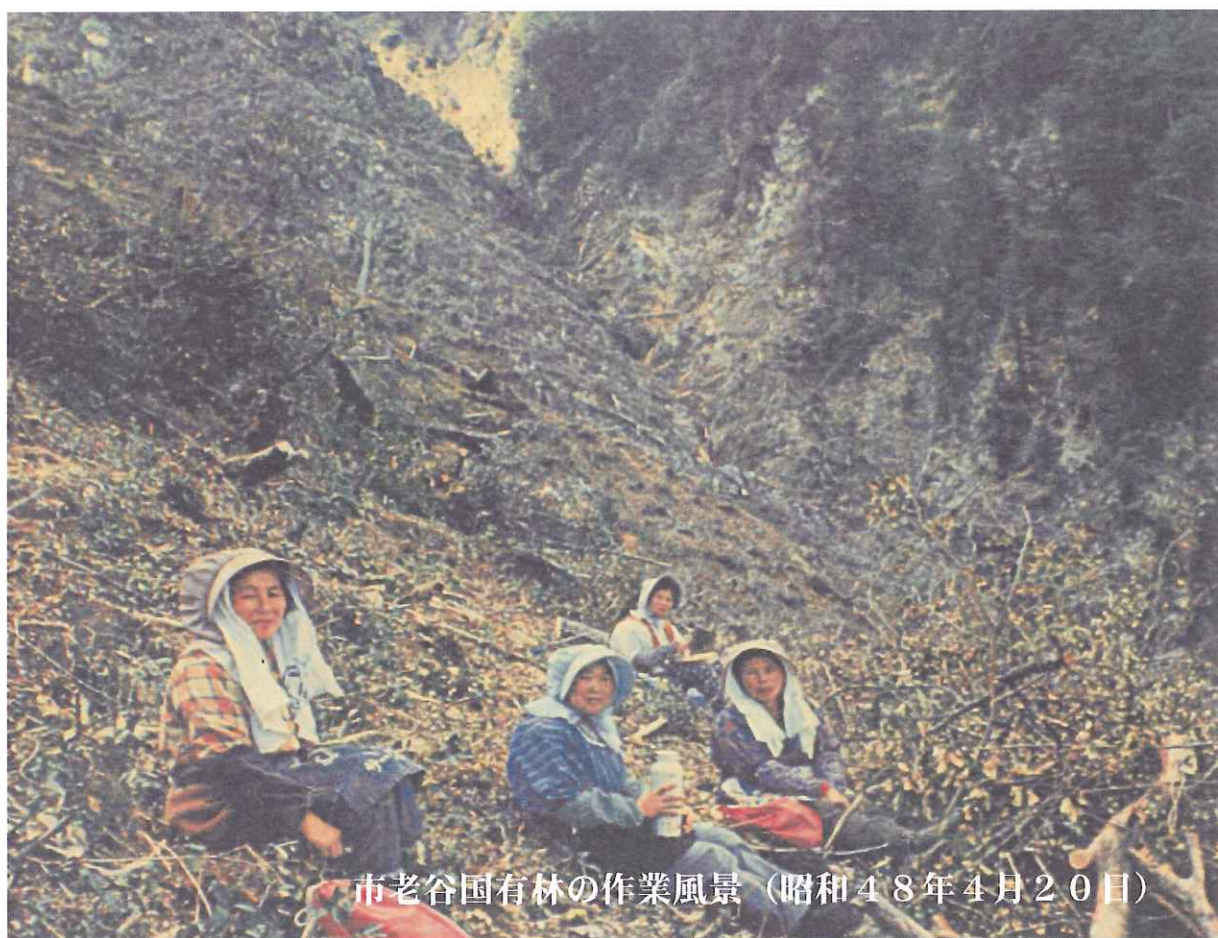




北山村 議会だより

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207



市老谷国有林の作業風景（昭和48年4月20日）

平成25年3月定例会（3月8日～18日）が開催されました

| | |
|--------------------------------|------|
| 議員が村政を問う（一般質問） | P2～4 |
| 総務建設常任委員会視察報告（神河町/紀南河川国道事務所） | P5～6 |
| 議会レポート ～議員が観る～（北山村高齢者生活福祉センター） | P6 |
| 議員の動き・議員コラム（亀田議員） | P7 |

平成25年3月北山村議会定例会では、次の一般質問が出されました。

●福村議員

- (1) じゃばら生産者組合について
- (2) 国立公園法について
- (3) 小松橋架設について

●久保學議員

- (1) 七色から熊野市神川町間の橋梁架設や県道七色峡線の改良工事について
 - ①現在のダム堰堤169号国道に替わる橋梁の架設
 - ②熊野市神川町から井戸町間（大迫峠下）の新トンネルの建設
- (2) 福祉バスによる買い物について
高齢化により村内商店が減少する中、村民が、少しの時間を利用して、熊野市内のスーパーへ買い物が行けるような、バス利用の促進を図って頂きたい。

●山口議員

- (1) 25年おくとろ温泉運営体制について、併せて、観光センターの運営体制について
組織・収入アップと営業の取り組み・25年度以降も直営か？
- (2) 北山振興(株)について
公社解散に伴い取り敢えず法人化したと認識しているが、今後どのような方向性を考えるのか？
- (3) じゃばらブランド化について 取り組み状況
- (4) 道路の嵩上げについて
大沼地区の国道と村道の嵩上げについて
- (5) 施政方針について
施政方針全般

本会議は、一般公開されており、自由に傍聴できます。村政に興味をもって頂くためにも是非、傍聴にお越しくください。



●久保隆俊議員

- (1) 消防・救急体制防災について
下記の点について、具体的にどのように取り組むのか？
 - ①防災道路の整備
 - ②自主防災活動の強化と防災訓練の実施
 - ③防災意識の向上を図る
 - ④防災拠点の整備と新設
 - ⑤新しい防災対策要綱等の策定
 - ⑥H25年度、電源開発(株)への要望活動
- (2) 診療所体制の改善策について
 - ①診療時間、Drの研修日の対応
 - ②患者数に対する看護師数の適正数と看護師と役場職員の連携強化
準職員との雇用契約
 - ③救急車の付き添い看護師の対応・急患が重複した場合の搬送車の対応
 - ④救急救命機器と薬剤の確保その他の対応

●亀田議員

- (1) 施政方針について
 - ①福祉施設等について
 - ②じゃばら事業の取組みについて
 - ③区への補助（避難道路整備）
 - ④竹原工区特一改良について
- (2) 村プロの対応 NPOとの連携
- (3) 教育委員会評価報告書 今後の対応・ジオパーク構想があれば



議員が村政を問う（一般質問）

じゃばら生産者組合について

福村 尚

七色く熊野市神川町間の橋梁架設や
県道七色峡線の改良工事について
久保 學

【質問】じゃばら生産者組合は、昨年、設立されたと聞いたが、この設立の目的、組合の人数、会則について伺いたい。次に、じゃばらの買い取り

に、じゃばらの買い取りに関するものであるが、北山村で苗木を育てて、村内の人が三重県内でじゃばら栽培した場合、それは北山村のブランドとして買い取ってくれるのか？また、果実の買い入れ価格は、幾らで買い上げているのか？

【回答】本年度より北山村じゃばら生産者組合として平成25年1月8日に法人化され、その目的は地域ブランドの取得である。組合員の自主的な経済活動を促進する目的で設立されており、組合員は現在17名となっている。村外で苗木を栽培したものに関しては、今後、北山村じゃばら生産者組合での話し合いでの

内容になってくるかと思う。果実の買い入れ価格は、昨年度までは300円、本年度から320円

円になっており、この20円については、生産者組合の事務費という形で、じゃばらの講習会、着花調査、剪定講習会等を行っており、そういった費用に充てることを見込んでいる。

田岡観光産業課長

【質問】今年の村内からの買い付け量は、22,430キロで、買い取り価格は673万3千円と聞いている。この内、生産者組合には44万6600円が入る形になっている。これは、生産者組合への補助金ではないのか？現在、じゃばら製品

については、約30品目あるが、これらの原材料として、原価計算し、買い入れ価格を320円ではなく、300円分は原材料費の歳出科目で、残り

20円分は、補助費という歳出科目で計上するの

【回答】20円については、生産者組合の活動費として生産者が使用するという

ことに理解をいただいている。この20円分については、原材料費であつても村が買い取るため、公費負担にはなっているが、補助という形にはなっており、会計監査の対象になるかどうかは、しっかり議論し精査する必要がある。

村長



【質問】国道169号線と三重県道七色峡線であるが・・・、

1点目、七色から神川間の橋を架けることができ

2点目、熊野市、ジャスコの辺りまで県道34号線、13kmの、災害復旧工事を行われているが、大迫トンネルから神川側方面の道路幅が狭いので、2車線に拡張工事をするとか、新たなトンネル（瀬戸く神川間）を掘るとか、色々方法はあると思うが、その辺、和歌山県、奈良県、三重県の関係機関に陳情するなど、地域が連携して、これを推進するよう要望したい。

【回答】1点目は、本来の路線として、ダムの上を国道として使うのは稀

なケースであり、国道管理の面から言っても問題があると認識している。今後、三重県も絡んでくる問題なので議論したい。また、2点目であるが、地元の道路としてもそういう意向が強いのであれば、我々も一緒に支援し、要望活動をしていくこと

村長



議員が村政を問う（一般質問）

大沼地区の国道と
村道の嵩上げについて

山口 賢二

【質問】大沼の旧小学校前の国道であるが、過去、台風による甚大な冠水被害が発生しており、この周辺は、大雨のたびに冠水している。そこで、村道の中州橋から下尾井の冠水した場所まで国道のかさ上げを要望したい。出来れば村道については、2車線の整備ということ計画していかか？竹原の国道改良工事もあるが、早急にこれら実現に向け行動を起こしていただきたい。

村長

【回答】大沼地内のバイパスをどうするのか、今後の重点課題である。和歌山県がどう考えられるかは別として、村内の現道をそのまま広げるのは困難で、川側にバイパスを作るといいう工法になると思う。その際、今の村道もあわせて一緒に道路の上



にかさ上げしバイパス化する。また、下尾井の低い箇所は竹原方式でかさ上げをする。その方針で県と協議を進めていきたい。防災道路、国土強靱化の一つになるかと思う。

【質問】新ドクターを迎えるにあたり診療所体制であるが、運営体制・時間を今後どうするのか伺いたい。また、医療福祉の現場における、行政と診療所、福祉の連携強化を真剣に考えて欲しい。それから、救急車の付き添い看護師の対応であるが、救急の看護師が義務付けられ、夜間でも適切な看護師と役場の2名体制で村民の安心感も増したかと思う。ただ、同時刻同時期に、北山村2か所で搬送以来があった場合、どう対応するのか伺いたい。

村長



診療所体制の改善策について

久保 隆俊

【質問】特別養護老人ホーム南紀園が、来年度新設されるが、現在、これら福祉施設への入所者は、村で、13人ほどいるようだが、熊野市、下北山村、上北山村など周辺自治体と連携した新たな福祉施設の建設について相談したことがあるのか？

【回答】各県での協議が必要で、国の施策も縦割りとなつている中、ベット数の問題など、新設は認められづらい状況である。新設の場合は、経営的にも50は床必要であり、そこまでの配分はこの地域では出来ないと考えられるが、ゴミ処理・学校保育所など地域で連携されるものがあり、今後、議論も出来るかと思う。

村長

村長の施政方針について
福祉施設等・区への補助

亀田 剛

【質問】各地区の避路整備費補助として、予算200万4件分計上されているが、避路に通じる道であれば、極論として、個人宅から国道に降りる道への手摺等は、基本的には設置できるものと認識しているのか？

【回答】避路路等整備費補助金交付要綱は、昨年12月議会において、補助金の議決を受けおり、避路所に指定されている各区民会館に通じる道であれば、個人云々に限らず、設置が出来る。



菟本総務課長

兵庫県神河町行政視察

総務建設常任委員会

【視察の目的】

過疎集落におけるガソリンスタンド及びスーパーマーケットの運営状況

2月26日(火) 早朝に北山村を出発し、午後1時に兵庫県神河町に到着した。

【視察の概要】

2月26日(火) 早朝

神河町副村長、議会議長、総務課長同席のもと、事業主体である「長谷地区の振興を考える会」の会長より、過疎対策等の事業経過と現状について説明を受ける。

同町は、人口12,239人(世帯数3,819) 町民のほとんどは兼業農家であるが、若い世代のほとんどは都市圏(姫路市まで車で1時間)へ通勤しており、この点、立地条件は北山村と大きな違いがある。視察地である、神河町長谷地区は、人口925人で、世帯数328戸(高齢化率約37%)で集落としては規模が大きい。



J A兵庫西の撤退を受け、同地区にあった食品をはじめとする生活必需品を取り扱う商店やガソリンスタンドがゼロとなる事象から、長谷地区住民自らが「長谷地区の振興を考える会」を発足。これが事業主体となり、長谷地区の基金と地区民の出資により、平成20年村営ふれあいマーケットとガソリンスタンドにこぎつけている。現在、経営については、営業開始から今日まで、ガソリンスタンドは、仕入れの高騰にもかかわらず何とか赤字を免れているものの、スーパーマーケットは、地区内の人口の減少、近郊の大型店の進出(長谷地区から20km程度・北山村からだと熊野のジャスコほどの距離)により、利用客も3分の1に減少し、年間300万円程度の赤字経

営の状況であり、ガソリンスタンドについても今は非常に厳しい状況であるという。

その中で、「長谷地区の振興を考える会」の会長から、北山村が同様の事業の導入を検討するのであれば、「設立当初の運営体制・村民のニーズや採算性の検討・村民の支援体制の確立など、十分な事前調査が必要である」との貴重な助言を頂いている。

【視察の結果】

過疎集落の対策を図るべく、モデル事業として

のノウハウを得るための視察であったが、帰村後、委員会において執行部提案について、数回による協議の結果、会長の助言の重要性や、長谷地区の人口規模でも先行きが不安視される中、北山村としての取り組み方法をもっと模索する必要があるのではないかとこの結論に至っている。これら事業を実施した場合、将来、「村の負担が増えるのではないか？」など慎重論も多く、村内におけるスタンドとマーケットの事業の実施は見送っている。

ただ、視察以前から計画していた、プロパンガス販売事業については、灯油配達販売事業も併せて実施することとしている。プロパンガス販売事業は、収益が見込めることであるが、村民の購買協力があつてこそ成りたるものであり、村民の支援が不可欠である。



また併せて、同事業では、じゃばら加工場改装及び倉庫の新設、これに伴う備



品の整備も計画している。これらに要する事業費は約2,300万円、県の「過疎集落等自立再生緊急対策事業」を活用し実施するため、2,000万円が交付金として助成される。

また、プロパンガス販売及び灯油配達販売の運営につきましては、北山振興株式会社が行うことが決定されており、着実に準備が進められている。

近畿自動車道紀勢線 田辺くすさみ間

現場視察

【総務建設常任委員会】

2月27日(木)午後から、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所管内で、近畿自動車道紀勢線(田辺くすさみ)の現場視察を行う。

まず事務所にて、吉谷所長、水野副所長と面談。

同整備状況は、区間38キロメートル、総工費約二千億円で、事業進捗率が40%となっており、27年度供用をめざし急ピッチで工事が進められている。特に注目は、同区間は、半分はトンネルとなり、新直轄方式のため、



区間の通行料は無料というところ。津波対策など防災用道路としての機能を有し、田辺市から串本町までの所要時間が約30分短縮(約70分)され、観光地へのアクセスが大幅に改善される。現在、工事用道路を含む64件が施工中で、25年度以降も50件の工事が着工される予定となっており、地元業者への発注工事も多く、驚いたことは、本工事とは別の工事用道路(橋3.6Km)にも、約十億円の整備費がかかっているらしい。地域への経済効果は莫大なるものである。また、24年度追加補正として、紀南には約350億円が予算化され、紀勢線には90億、那智自動車道には30億円、奥瀬道路には12.5億の予算が付いたことなど喜ばしい報告を受ける。

作業工法について説明を受ける。近畿自動車道紀勢線の早期整備が望まれる中、残すところ、すさみく太地間(約38km)、新宮くすさみ間(約30km)の事業化であるが、周辺自治体の北山村としても、奥瀬道路2期工事の早期完成と、引き続き3期工事の事業化に向け、紀南工事国道事務所との連携を図り、国などの関係機関への陳情活動を活性化させたい。

北山村高齢者生活

福祉センター訪問

4月3日(水)に北山村高齢者生活福祉センター(北山村社会福祉協議会)取材しました。この施設は、平成7年度に開設され、「デイサービス」、「ヘルパー派遣事業」など介護サービスや、「シニアエクササイズ」、「地域助け合いサービス」など様々な活動が行われている村の福祉拠点です。訪問した日は、「デイサービス」の最中で、施設内ではレクレーションや相談活動など高齢者の方々に配慮したきめ細かな福祉サービスが行われており、明るい笑い声や歌声が聞こえていました。

隣接する生活支援ハウスは、自宅で生活することが困難な高齢者のため、介護支援機能や居住機能を提供する施設です。ここに住む人の要件は、60歳以上で身体が虚弱等のため日常生活を営むのに支障のある人もしくは、高齢等で自宅での生活に不安のある人が対象です。部屋数は全部で8室あり、約6畳。1人部屋で、エアコン、ミニキッチン、洗面所、トイレ(洋式)が完備され、要支援の人の自己負担が、1ヶ月約4万円(光熱費食費代等含む)とのこと。現在、山本タミエさん(91歳)、杉本いとさん(90歳)、久保岡あき子さん(81歳)の3名が暮らしています。皆さん「部屋から保育園児の遊ぶ姿が見られ住んでいて安らぐ。食事も美味しい快適です。」「ヘルパーさん達が季節に応じた色んな楽しみを

与えてくれて、毎日が楽しい。」「デイサービスで地元の友達と会えるのが嬉しい。」など、大変満足されているようで、健康的で明るい生活を送っています。迷惑な取材でありましたが、「兄さん、また遊びに来てたもれ」という有難い言葉を頂きました。

現在、施設内に勤務するスタッフは、社協職員5名(非常勤含む)、登録ヘルパー、調理員等13名が在籍されています。年間運営費用は、約55,000千円(平成24年度予算)。その内、約30,000千円は村からの受託金、補助金です。久保次長に話を伺いましたが、2月末時点では、要支援15名・要介護認定者数23名となっており、村外の施設入居者は16名とのこと。今後も高齢化が進み、将来的には、公的なサービスだけでは村民の介護福祉全般を支えることは難しくなる中で、「誰でも、住みなれた地域で健やかに暮らしたいという願いを持っている。ただ、日常生活



第32回北方領土返還 要求和歌山県民大会

2月7日(木)

北方領土返還の早期実現を目指す「北方領土返還要求運動県民大会」が、海南市の市民交流センターで開催されました。元駐ロシア大使の都甲岳洋(とこう・たけひろ)氏による、「日露関係の現状と北方領土問題」をテーマにした講演や、海南市立下津第一中学校生徒による、北海道根室市の市立北方四島交流センター見学報告、領土問題を学んだ成果発表があり、本年も、活発な返還運動が行われました。

(葛城議長出席)

観光庁への訪問

2月15日(火)

国土交通省観光庁観光資源課を訪問しました。本会議は、年頭の地元国会議員への表敬訪問の際、「じやばらや筏下り」

など村の観光PRをきっかけに、新規事業への提案があったもので、平成24年度第一次補正として「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化」事業の実施に向け事務的な打合せに同席しておりま

す。村として、新たな客層をターゲットにした観光商品の開発を図るべくプランの策定が進められています。

高速道路をはじめ県内道路網の整備促進 を求める和歌山県民総決起大会

2月23日(日)

和歌山県道路協会(会長・中村慎司紀の川市長)主催の同県民総決起大会が和歌山市で開催されました。県市長会や町村会、各経済団体などが共催であり、関係団体から約1000人の参加があり、

会場は超満席。

大会では、鶴保庸介国土交通副大臣と国交省道路局の課長3人、県選出の与党国会議員、仁坂吉伸知事らがそろって出席され大会は盛大に盛り上がりました。

登壇する来賓からは、県内の高速道路整備状況は悪く、計画されている距離217・2キロに対し供用は105キロで、供用率は全国の都道府県でワーストの48・3%。これらの現状を訴えるべく抗議声明や、御坊―南紀田辺間の4車線化事業を凍結した民主党政権への批判が展開されていました。また、紀伊半島一周高速道路の早期実現や道路関係予算の確保など、県民が丸となって推進していくための大会決議が述べられました。



議員コラム「幸せな生活」

亀田

村の少子高齢化が進む中で、福祉の充実と村民の健康増進は私の切実な思いです。

普段から、健康管理には充分注意をしているつもりでも、編食や運動不足になりがちで、気力があっても若い時のような体の元気が年々衰えて来ているのが実感します。

特に注目されるのが、村営の灯油配達サービスやプロパンガス販売事業です。個人的には、村内商店が閉鎖していく中で、熊野新宮等へ買い物に行けない人達のため、食品が簡単に買えるようなコンビニの誘致も良いのではないかと思います。

来ているのが実感します。嫌なものです。出来ることなら健康的で活力ある日常生活を送りたいと願っています。趣味の一つのゴルフも健康維持にいいのですが、社会福祉協議会などの主催のグラウンドゴルフやエクササイズなどにも参加し、村民の方々と共に、長寿村を作りたいと思います。

今後も、色んな事業を取り入れ、田舎に住んでも便利で快適だということを村政に反映していきたいものです。村民も安心・安全をモットに「北山村に住んでいて幸せ」と誇れるような村づくりを進め、村民の皆様には、幸せな生活を届たいと切実に思っています。



話は変わりますが、本年から、過疎対策への取り組みとして、地域の暮らしの向上を図る色々な事業が計画されています。

暮らしの情報 北山村名物簡単料理

塩シビの作り方

マグロのブロックに適度の塩を振りサランラップに巻き、冷蔵庫に三時間程保存し、食する時刺身にする。

付けタレを作る

- ① 生姜をすり酢と合わせたタレで召し上がる
- ② 生姜をすり酢・正油と合わせたタレで召し上がる
(聞く処、北山村が発祥の地と聞いていますが???)



かぶスープの作り方

- ①かぶの皮をむいて小さく切って、鍋にバターを少し入れ炒める。
- ②①の中へ水をヒタヒタに入れ柔らかくなるまで煮る
- ③②をミキサーにかける
- ④元の鍋に③を入れ豆乳を入れ、コショウは好みで入れ、弱火で煮る
(泡立が目安 20秒から30秒)
- ⑤ スープ皿に入れ上にパセリを少しのせる。

材料

| | |
|------|---------------|
| カブ | 三個～四個 |
| 豆乳 | 一本200ml |
| バター | 少々 |
| コショウ | 少々 |
| 水 | かぶがヒタヒタにつかる程度 |



村政の情報公開や議会活動など中心に掲載しますが、皆様から、取り上げてほしい記事や、質問、感想などがありましたら、お気軽に、議会事務局まで御申出下さい。また直接、議員に言っていたことも勿論オッケーです。宜しくお願いいたします。

広報委員より

北山村議会だよりは、議会の模様をいち早く村民の皆様にお届けいたします。年4回の発行を予定しており、村のホームページでも閲覧することができます。